

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3-4学年用） 教科		福祉	科目 社会福祉基礎
教科：福祉	科目：社会福祉基礎	単位数：2	単位
対象学年組：第3-4 学年			
使用教科書：（【福祉701】社会福祉基礎 実教出版）			
教科 福祉	の目標：		
【知識及び技能】	福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
科目 社会福祉基礎	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 社会福祉の理念と意義 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 生活と福祉 イ 社会福祉の理念 ウ 人間の尊厳と自立 定期考査	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	20
				○	○	○	1
2 学期	B 人間関係とコミュニケーション 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 人間関係の形成 イ コミュニケーションの基礎 ウ 社会福祉援助活動の概要	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	19
	C 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 外国における社会福祉 イ 日本における社会福祉 ウ 地域福祉の進展 定期考査	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	18
				○	○	○	1

3 学 期	D 生活を支える社会保障制度 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 社会保障制度の意義と役割 イ 生活支援のための公的扶助 ウ 児童家庭福祉と社会福祉サービス エ 高齢者福祉と介護保険制度 オ 障害者福祉と障害者総合支援制度 カ 介護実践に関連する諸制度 定期考査	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	18
				○	○	○	1
							合計 78